



2009年度 分かち合いの時間, ならびに^{せいさん}聖餐会での子供の発表の概要

わたしの永遠の家族

「家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません。」(「家族——世界への宣言」段落7)

分かち合いの時間、ならびに^{せいさん}聖餐会での
子供の発表に関する
初等協会指導者への指示

初等協会会長会へのメッセージ

今年の分かち合いの時間では、初等協会の子供たちに永遠の家族を築くうえで自分が大切な役割を担っていることを教えます。子供たちは現在の家族を強めることができます。また将来築く家庭において忠実な父親または母親になる備えをすることができます。天の御父がわたしたちのためにお立てになった計画において、家族の役割が重要な位置を占めることを子供たちが学べるよう助けてください。わたしたちは家族の中にあつて福音を学び、それに従って生活します。聖文、祈り、預言者、聖約、神殿、イエス・キリストの贖いなどは家族を強める祝福です。皆さんが御霊とともに準備し、教えるとき、子供たちは聖霊によってこれらの偉大な真理について確信を得るでしょう。聖文から教え、証を述べ、模範を示してください。わたしたちは皆さんを愛し、皆さんのために祈っています。また主が皆さんを祝福して下さることを知っています。

中央初等協会会長会

分かち合いの時間のための指示

分かち合いの時間は、年齢層の違う子供たちが一緒に様々な活動に参加したり、福音の原則を教える歌を歌ったりする、30分間の活動です。

以下の指針は、分かち合いの時間を計画する際の助けとなるでしょう。

- 新しい年度が始まる前に、この資料を祈りの気持ちで十分に研究してください。
- この概要に記された原則を教えてください。
- 毎週行う分かち合いの時間の計画を立てるに当たっては、靈感を求めてください。
- 計画を立てる際には音楽指導者も加わるようにしてください。教えられている原則を強調するために、分かち合いの時間では、様々な場面で音楽を用いてください。分かち合いの時間の半分は歌う時間にします。これによって音楽指導者は時間的に余裕を持って、子供たちに新しい曲を教え、楽しく歌うように指導することができます。
- どのように毎週の福音の原則を教え、子供たちを参加させるか、また子供たちがどのように福音の原則を生

活に応用させることができるかについて、話し合ってください（13ページにある「教え方」参照）。

- 毎週分かち合いの時間にあなたが聖典を開き、聖文から教え、聖文について証する際に、子供たちを聖文に引き込むよう工夫してください。
- 12ページの「分かち合いの時間計画ワークシート」のコピーに計画を記入してください。
- 会長会のうちだれが各週の分かち合いの時間を教えるか、または見守るかを決めます。
- 1か月に1回の分かち合いの時間を、クラスの発表の場とすることによって毎週学ぶ原則を補強します（13ページにある「クラスの発表」参照）。

^{せいさん}聖餐会での発表の指針

聖餐会での子供の発表は、ビショップまたは支部会長
の指示の下に第4四半期に行われます。その際子供たちは、今年のテーマである「わたしの永遠の家族」について学んだことを発表します。発表時間は40分以内とし、発表は、聖餐会に関する教会の方針と指針に添ったものであるべきです。ビショップリックまたは支部会長会の一人が、集会の最後に発表で教えられた原則を支持する短いお話をします（『教会指導手引き 第2部 神権指導者・補助組織指導者』239参照）。

以下の指針も、聖餐会での発表を計画する際の助けとなるでしょう。

- 年度の早い時期にビショップまたは支部会長と会い、仮の計画について話し合います。最終的な計画が出来上がった時点で、ビショップまたは支部会長の承認を得ます。
- 分かち合いの時間の毎月のテーマに基づいて子供たちが発表できるよう計画してください。
- 年間を通じ、発表の中で使う可能性も考えて、子供たち一人一人の話や経験を記録に残しておいてください。御霊の導きに従って発表に参加する子供を選んでください。
- 発表に当たっては様々な方法を活用するように計画してください。例えば、聖句、個人の経験、音楽、一人あるいはグループでの暗唱、証などが活用できます。
- 音楽の発表に当たっては、初等協会全体のコーラス、

年長組と年少組のコーラス、独唱、デュエット、小グループのコーラス、聖餐会の出席者全員による合唱、ふさわしいものであれば楽器の伴奏を組み入れることができます。

- 練習のためにクラスや家族の時間を不必要に奪うことのないようにしてください。

記号や略称の説明

この概要では、全体を通じて次のような記号や略称が使われています。

♪ 音楽 ここで提案されている歌は、年間目標を達成するためのものであり、また聖餐会での発表のために推薦されています。今年、『子供の歌集』『賛美歌』あるいは『リアホナ』の中から少なくとも2曲を選んで使用してください。歌は毎月のテーマを補強するもの、聖餐会での発表の曲目に含まれそうなものを選んでください。

『歌集』	『子供の歌集』
『家庭』	『家庭の夕べアイデア集』
『信仰』	『神への信仰』ガイドブック
『視覚資料』	『福音の視覚資料セット』
『原則』	『福音の原則』
『わたしの福音の標準』	『神への信仰』ガイドブック、裏表紙
『絵』	初等協会教師用引きに付属の視覚資料
『宣言』	「家族——世界への宣言」(『リアホナ』2006年6月号, 72。「家族——世界への宣言」は教会のウェブサイト http://www.lds.org から入手することができます。)
『教師、召し』	『教師、その大いなる召し』
『真理』	『真理を守る』

絵

以下の『視覚資料』の絵は、今年分かち合いの時間の概要で指示されているものです。その中のほとんどの絵は、同様のものが、初等協会教師用引きに付属の視覚資料に収められています。

『視覚資料』の絵と説明	初等協会教師用引きに付属の視覚資料に収められた同様の絵
101—アダムとエバ	1-33, 6-4
102—箱舟を造る	1-29, 2-72, 6-7
107—モーセと燃えるしば	1-66, 6-23
118—古代の神殿	2-22
124—麦畑で落ち穂を拾うルツ	6-33
204—エジプトへ逃れる	2-8
208—イエスにバプテスマを施す バプテスマのヨハネ	1-18, 2-19, 3-1, 7-7
225—最後の晩餐 ^{ばんさん}	1-70, 2-54, 3-22, 7-29
227—ゲツセマネで祈るキリスト	1-72, 2-52, 3-46, 6-47, 7-30
230—十字架上へのはりつけ	1-59, 2-61, 3-71, 4-11, 6-27, 7-33
238—再臨	2-65, 3-15, 4-49, 5-28, 6-28, 7-25
240—イエス・キリスト	1-3, 2-3, 3-9, 4-9, 5-48, 7-1
301—エルサレムをたつ リーハイの家族	3-40, 4-5
304—約束の地に着く リーハイとその民	1-60, 3-45, 4-20
316—西半球で福音を教えるイエス	1-44, 3-17, 4-45
416—『モルモン書』の翻訳	5-14
605—祈りをささげる少年	1-9, 3-24, 3-60, 7-13
606—家族の祈り	1-10, 4-50
617—聖文を調べなさい	3-23
618—信仰箇条と「福音の標準」	

わたしの永遠の家族

「家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません。」(「家族——世界への宣言」段落7)

目的——子供たちに永遠にわたる家族の本質を理解させ、現在の自分の家族を強める方法、および将来父親や母親になるために備える方法について教える

分かち合いの時間の概要

この概要の中の毎月のテーマは、子供たちが暗記するとよい聖句とともに掲載されています。「今週の福音の原則」は分かち合いの時間で、さらに開会または閉会行事の際に教えるとよいでしょう。通常は毎週一つの福音の原則を教えます。「今週の福音の原則」の中には「分かち合いの時間のためのアイデア」に続いて掲載されているものもあります。すべての原則について、分かち合いの時間の計画に役立つ資料の参照箇所が載せてあります。時にはあなたが指導する初等協会の分かち合いの時間で、特定の事項を強調する必要があるかもしれません。例えば、神殿の奉獻式が行われたり、神権指導者から強調点が示されたりしている場合がそうです。

1月のテーマ

わたしは天のお父様の霊の子供です。「あなたがたは皆いと高き者の子だ。」(詩篇82：6)

♪「ほくはむかし」(『リアホナ』「フレンド」1999年4月号、5)または「神様からの家族」(仮題。原題——“The Family Is Ordained of God”) (『リアホナ』「フレンド」2008年10月号)

今週の福音の原則

1. 天のお父様はわたしを愛しておられ、わたしのための計画をお持ちです。(アルマ12：30；アブラハム2：11；3：22-27)。

初等協会のクラスが始まる前に、家族を描いた絵を教室の中に隠しておきます。3つのヒントを手掛かりに、子供たちがだんだん絵の隠し場所に近づき、絵を見つけ出せるように助けます。絵を見つけるために幾つか指示が必要であったことを指摘します。同じように、天のお父様の計画は、わたしたちがお父様のもとに戻る道を見いだすのを助けるための指示を与えてくれることを教えます。「主の計画にしたがう」(『歌集』86-87)を歌います。このとき定期的に音楽を止めて、歌詞の意味について話し合います。年長の子供のためにアブラハム3：22-24；モーセ6：52；1ニーファイ11：25；申命10：12を使って手短かに歌詞について話し合います。歌を全部歌い、神の計画について証を述べます。

2. わたしはこの世に生まれてくる前に天のお父様とともに住んでいました(エレミヤ1：5；教義と聖約138：56；『わたしの福音を宣べ伝えなさい』48；『原則』2章)。
3. わたしは神の形に造られました。わたしの体は神殿です(創世1：27；1コリント3：16-17；教義と聖約89章)。

子供たちに二つの神殿を見せたいと言い、まず神殿の絵を見せます。次に鏡を掲げ、子供たちにのぞき込ませます。子供たちに聖句ガイドの「神殿；主の宮」の項目(139-140ページ)を開いて読むように言い、神殿は文字どおり主の宮、すなわち主が訪れられる所であると書いてあるのを見つけさせます。1コリント3：16を読み、主がなぜわたしたちの体を神殿にたとえられたかを理解させます。次の質問について話し合います。「わたしの神殿に何を取り入れますか。わたしの神殿に何を着せますか。わたしの神殿のために何をしますか。わたしの神殿を使って何をしますか。」これらの質問の答えとなる言葉または絵を子供たち一人一人に与えます。例えば、栄養のある食べ物、慎み深い衣服、睡眠と身だしなみ、奉仕の行いを表す絵などです。自分に与えられた絵がどの質問に対応しているか言わせません。さらに知恵の言葉について、また入れ墨や有害な薬物の常用など主が喜ばれない事柄についても話し合います。「この体は神の宮」(『歌集』73)を歌い、体は神聖なものであることについて証を述べます。

4. 家族は神によって定められたものであり、創造主の計画の中心を成すものです(『宣言』段落1、7；創世1：28；『原則』36章；『家族ガイドブック』1-3)。

2月のテーマ

わたしは家族の一員としてこの世に生まれました。「家族は神によって定められたものです。」(『宣言』段落7)

♪「主のみ言葉は」(『賛美歌』46番、1節、3節)

今週の福音の原則

1. アダムとエバは最初の家族でした(2ニーファイ2：19-20；モーセ3：15-24；4：12；5：1-2、12、58)。

アダムとエバの生涯における特徴的な出来事、例えば「エデンの園で生活していた」「結婚した」「禁断の

くといいでしょう（この活動は『信仰』の9ページにある条件を満たすものです）。親戚がいることの祝福について証します。

4月のテーマ

イエス・キリストは、わたしがもう一度天のお父様とともに住むことができるようにしてくださいました。「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。」（ヨハネ14：6）

♪『子供の歌集』『賛美歌』『フレンド』『リアホナ』から選んだイエス・キリストについての歌

今週の福音の原則

1. わたしは前世でイエス・キリストに従うことを選びました（アブラハム3：24-27；『原則』2-3章）。
2. わたしはイエス・キリストがわたしの救い主であるという証^{あかし}を持っています（ヨハネ3：16；アルマ34：8-10）。

黒板に『視覚資料』240と一人の子供を描いた絵を掲示します。ヨハネ3：16を読み、天のお父様とイエス・キリストがわたしたち一人一人を愛しておられることと、いつかもう一度わたしたちと一緒に住めるよう願っておられることを子供たちに理解させます。うそをつくことや、不親切にすることなど、過ちを犯すと、イエス・キリストとの間に大きな溝を作ってしまうと説明します。子供の絵とイエス・キリストの絵の間に溝を描きます。『視覚資料』227と230^{あがな}を使って贖いについて簡潔に説明します。溝の上に橋を描いてください。救い主の贖いはこの橋のように、わたしたちが悔い改めるなら天のお父様とイエス・キリストのもとに戻れるようにしてくれると説明します。信仰箇条第3条を暗唱し、贖いの祝福について証します。

3. わたしと家族は復活します（ルカ24章；アルマ11：43；「復活」『真理』174-175）。
4. イエス・キリストに従うことによって、わたしたちは天のお父様とイエス・キリストともう一度ともに住むことができます（教義と聖約59：23；信仰箇条1：3）。

『信仰』の基本的な条件について描いた絵を『視覚資料』と初等協会教師用引き付き付属の絵から選びます。その中に次の絵を含めます。『視覚資料』605（毎日祈る）、『視覚資料』617（聖典を読む）、『視覚資料』618（「わたしの福音の標準」に従って生活する）、『絵』1-45（両親を敬う）、『絵』3-26（^{じゅうぶん}什分の一を納める）、

3-66（初等協会に出席する）。事例研究（「事例研究」『教師、召し』161-162）を用いて、それぞれの条件について説明します。例えば次のように言います。「お母さんから夕食のテーブルを整えるよう頼まれました。でもあなたは友達と遊んでいます。どうしますか。」事例研究を提示後、絵の中からふさわしいものを一つ選ぶよう子供たちに言います。その基本的な条件に従って生活するために自分が実践していること、またそれがイエス・キリストに従ううえでどのように助けとなっているかについて話すよう子供たちを促します。「信仰持って、主に従おう」（『2007年分ちかひの期間のための概要』、11）を歌います。イエス・キリストに従うときに受ける祝福について証を述べます。

5月のテーマ

バプテスマと確認はわたしの家族を祝福する儀式です。「だれでも、水と霊とから生れなければ、神の国にはいることはできない。」（ヨハネ3：5）

♪「バプテスマ」（『歌集』54-55）

今週の福音の原則

1. バプテスマは福音の第一の儀式です（2ニーファイ31：17；信仰箇条1：4；「バプテスマ」『真理』154-159；『原則』20章）。
2. イエス・キリストはバプテスマを受けられました（マタイ3：13-17；1ニーファイ11：27）。

『視覚資料』208を掲示し、その周りを「だれ？」「なに？」「どこ？」「いつ？」「なぜ？」「どのように？」という質問で囲みます。各クラスに質問の言葉を一つずつ割り当て、マタイ3：13-17を読んで答えを見つけるように言います。イエスがバプテスマをお受けになったときの様子について話しなが、クラスごとに見つけた答えを発表してもらいます。その際、イエスが水に沈めるバプテスマをお受けになったことを子供たちに理解させます。「バプテスマ」（『歌集』54-55）を歌い、この歌の中にも質問の答えを見つけることができることを指摘します。バプテスマの大切さについて証します。

3. わたしはバプテスマと確認を受けます（モーサヤ18：8-10；3ニーファイ27：20；信仰箇条1：4；『初等協会3』11課；『家庭』131-134）。
4. わたしの家族は聖霊の促しに従うとき祝福を受けます（2ニーファイ32：5；モロナイ10：5；教義と聖約130：22）。

一人の子供に教義と聖約130：22を読むように頼みます。聖霊は「霊の御方」であると教えます。聖霊を見ることはできませんが、その影響に気づくことができますと説明します。果物を入れたかごを置き、それぞれの果物になる木の種類を言い当てるよう子供たちに言います。一人の子供にマタイ7：20を読んでもらい、果物の木は枝になっている実によって、それが何の木か分かると説明します。もう一人の子供にガラテヤ5：22を読んでもらい、御霊とは聖霊のことであると教えます。この聖句に書いてあるような気持ちを感じるとき、わたしたちは聖霊を感じていると分かると証します。子供たち全員にガラテヤ5：22とモーサヤ4：3を開いて、読むように言います。喜び、平和、信仰という言葉に印を付けさせ、これらは御霊の実であると説明します。あなたの家族がこれまで、どのように聖霊によって祝福を受けてきたかについて個人的な経験を分かち合います。「せいれい」（『歌集』56）を歌い、喜び、平安、信仰は聖霊の実であることを子供たちに思い起こさせます。

6月のテーマ

信仰、祈り、悔い改め、赦しは、わたしと家族を強めます。「実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改め、赦し……の原則にのっとって確立され、維持されます。」（『宣言』段落7）

♪「子供の時から主を求め」（『歌集』67）

今週の福音の原則

1. イエス・キリストを信じる信仰は、わたしと家族を強めます（アルマ32：21；エテル12：6；「信仰」『真理』109-112；『原則』18章）。
2. 祈りは、わたしと家族を強めます（ヤコブの手紙1：5；アルマ37：37；『初等協会3』19課；「祈り」『真理』24-29）。
3. 悔い改めは、わたしが天のお父様のもとに帰る助けになります（3ニーファイ9：22；教義と聖約58：42）。

永遠の命に続く道を表す白い足型を作ります。わたしたちが天のお父様のもとに帰るために行う必要がある事柄（バプテスマと確認を受ける、じゅうぶん 十分の一を納めるなど）を子供たちに挙げてもらい、それぞれ足型に書き入れます。足型を道なりに配置し、できた道に沿って数人の子供を歩かせます。黒く塗った足型に「薬物」「下品」「不正直」などのラベルをはったものを何枚か加え、これらの足型を永遠の命へ続く道からそれるように置きます。道に戻るためにできることは

何か子供たちに尋ねます。教義と聖約58：42を読み、正しい道からそれたとき、わたしたちは悔い改めて戻ることができることについて教えます。子供たちが自分の足型を描き、それぞれの足型に「悔い改めは、わたしが天のお父様のもとに帰る助けになります」と書くのを手伝います。「笑顔で」（『歌集』128）を歌い、悔い改めるとき、わたしたちの顔はしかめ面（悲しみ）から笑顔（喜び）に変わると説明します。悔い改めが真実であることについて証します。

4. わたしは赦すとき自分も赦されます（創世37：5-35；45：1-15；マタイ6：14；教義と聖約64：9-10）。

兄たちによってエジプトに売られ、後にその兄たちを赦したヨセフの物語を子供たちに劇化させます（「劇化」『教師、召し』165-166；『初等協会6』15課、17課参照）。子供たちが物語を演じているとき、演技を中断させ、次のように尋ねます。「ヨセフはどう感じたと思いますか。」「兄弟たちはなぜ恐れたのでしょうか。」「だれかに赦してもらったとき、どのように感じますか。」マタイ6：14の言葉を順不同に並べて掲示し、子供たちに正しい順番に並べ替えさせます。それから各自に、聖文を見て答えを確認させます。「もしも」という言葉に注目させ、赦されるという約束には条件があることを説明します。「もし……ならば……です」といった言い回しを使って「条件」について説明する必要があるかもしれません。例えば「もしも戒めを守るならば祝福を受けます」のような例文を挙げて説明します。「人をゆるせるように」（くいあらため）（『歌集』52）を歌い、赦しについてあなたの証を述べます。

7月のテーマ

わたしは家族を強めます。「またあなたがたは、互いに傷つけ合う心を持たず、平和に暮らし……たいと思うようになるであろう。」（モーサヤ4：13）

♪『子供の歌集』『賛美歌』『フレンド』『リアホナ』から選んだイエス・キリストについての歌

今週の福音の原則

1. 家族の祈りはわたしの家族を強めます（アルマ17：3；3ニーファイ18：21）。

音楽指導者に頼んで「家族のいのり」（『歌集』101）を歌うよう子供たちを指導してもらいます。その間に黒板に円を描き、円の周りに「ともに祈る家族は、ともにいる」と書きます。この言葉は、トーマス・S・モンソン大管長が好んで引用する言葉であると説明し

ます（『堅固な土台』『リアホナ』2006年11月号、67参照）。この言葉の意味について話し合い、『視覚資料』606を黒板に描いた円の中に掲示します。子供たちを並ばせて円を作り、「家族のいのり」を歌う間、一つのボールを子供たちが順に隣の子供に渡していきます。途中で音楽が止まったときボールを手をしている子供に、自分の家族が祈りの中で感謝する、あるいは願い求めるような祝福を言ってもらいます。それらの祝福を黒板に描いた円の外側に書き出します。家族の祈りの祝福について証^{あかし}します。

2. 聖文を読むことはわたしの家族を強めます（ヨハネ5：39；2ニーファイ4：15；「聖文」『真理』126－130；『家庭』19－22）。
3. 家庭の夕べはわたしの家族を強めます（3ニーファイ17：3；22：13；「家庭の夕べ」『真理』43－44；『家族ガイドブック』7－9）。
4. 安息日を尊び、聖く保つことはわたしの家族を強めます（出エジプト20：8－11；『原則』24章）。

日曜日を目立たせた大きなカレンダーを掲示します。日曜日はなぜ特別なのか子供たちに尋ねます。安息日の由来と大切さについて話し合います。子供たちが出エジプト20：8を覚えらるよう助けます（『暗記』『教師、召し』171－172参照）。分類ゲームをします。安息日にふさわしい活動のリストを用意し、そこに安息日にふさわしくない活動を幾つか加えます。一人の子供にリストの中から一つを読んでもらい、その活動にふさわしい日はいつか考え、カレンダーに書き込ませます。安息日を尊ぶ活動は、必ず日曜日の欄に書くよう指導します。リスト上のそれぞれの活動について同様に繰り返します。安息日を聖く保つことの祝福について証^{あかし}します。

8月のテーマ

神殿の祝福は家族を一つにします。「わたしは、あなたに天国のかぎを授けよう。そして、あなたが地上でつなぐことは、天でもつなぐれ、あなたが地上で解くことは天でも解かれるであろう。」（マタイ16：19）

♪「家族は永遠に」（『歌集』98）

今週の福音の原則

1. 神殿は神の家です（教義と聖約88：119；124：40；「なぜ象徴が使われるのか」『リアホナ』2007年2月号、14－19）。

神殿は地上における神の家であると教えます。小冊

子『聖なる神殿に参入する備え』（36793 300）と『リアホナ』に掲載されている記事を活用して、神殿の目的について教え、子供たちの疑問に答えます。神殿内部の写真を見せ、神の家がいかに美しく、清い場所であるかに注目させます。「神殿に行きたいな」（『歌集』99）を歌います。神殿の大切さについて、あなたの証^{あかし}を述べます。

2. わたしは今から神殿に行く備えをします（アルマ34：32；37：35；「神殿に参入するためのふさわしさ」『真理』114－115）。
3. わたしの家族は神殿の儀式を通して永遠に一緒にいることができます（教義と聖約138：47－48；『原則』36章；『初等協会3』35課）。
4. 家族歴史と神殿の業はわたしの家族のすべての世代を祝福します（マラキ4：5－6；アブラハム1：31；『原則』40章；「家族歴史活動と系図」『真理』40－43）。

あなたが家族と離れていたときの経験について話し、そのときあなたが感じた気持ちについて話し合います。同様の経験について何人かの子供に話してもらいます。一人の子供に教室の中央に立つよう頼みます。その子供の左右どちらかに両親や祖父母、曾祖父母^{そうそふぼ}役の子供たちを立たせます。反対側に、子孫役のそのほかの子供たちを立たせます。この家族がどうすれば永遠に一緒にいられるか、その方法を知っているか子供たちに尋ねます。神権の権能のおかげで、わたしたち家族は永遠に一緒にいることができること、だれも家族と離れる必要がないことを説明します。神殿はわたしたちがともに結ばれる場所であると教えます。年少の子供たちが家族の木を完成できるように手伝います（『初等協会3』196）。年長の子供たちが系図表を書くように助けます。「家族は永遠に」（『歌集』98）を歌い、家族歴史と神殿の業について、あなたの証^{あかし}を述べます。

9月のテーマ

預言者はわたしの家族を強める方法を教えてください。「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであって、……わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」（教義と聖約1：38）

今週の福音の原則

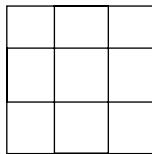
1. 聖書の預言者たちは、わたしの家族を強める方法を教えてください（義にかかった家族について記された聖書の物語を復習します。例えばアダムとエバ、ノア、アブラハムとサラ、ザカリヤとエリサベツなど）。

2. モルモン書の預言者は、わたしの家族を強める方法を教えてください（モーサヤ4：14－15；27：8－37）。

アルマ、息子アルマ、天使、モーサヤの息子たちを表す指人形を使って（「指人形」『教師、召し』176参照）モーサヤ27：8－37に記されている物語について話します。その際モーサヤが息子のために信仰を持って祈った点に焦点を当てます。なぜ天使がアルマの祈りに答えるために訪れたか尋ねます。「『モルモン書』の物語」（『歌集』62）の1節と3節を歌います。天のお父様は、御心みこころに従って祈りに答えてくださることを強調します。同様のレッスンを家庭の夕べで教えるよう子供たちに勧めます。家族についての祈りが答えられることについて証あかしします。

3. 現代の預言者は、わたしの家族を強める方法を教えてください（あなたが教える初等協会の必要に合わせて『リアホナ』あるいは『フレンド』の「預言者の声」に掲載されている過去の総大会の説教、信仰簡条1：6、「預言者」『真理』189－190、『原則』9章などから選びます）。
4. 総大会の話を書くとき、預言者が語る言葉に耳を傾けます（アモス3：7；教義と聖約21：4－5；『原則』10章）。

これまでに現代の預言者や指導者が勧告してきた家族を強める方法について子供たちに考えさせます（家族の祈り、聖文を読む、家庭の夕べ、安息日の礼拝など）。これらを黒板に書き出します。下記のように縦横に線を引いたカードを子供たち一人一人に配ります。



黒板に書き出した教えを覚えておくのに役立つ言葉か絵を、子供たちがカードの枠に書けるように助けます（一つの枠に一つの教え）。総大会の放送を見ると、このカードを活用するよう子供たちに勧めます。話者がカードに書き込んだ事柄について教えるたびに、子供たちはカードに印を入れます。これらの教えの中からもっと従おうと思う事柄の一つ、家族とともに選ぶよう子供たちに勧めます。「感謝を神に捧げん」（『賛美歌』11番）を歌います。生ける預言者について証を述べます。

10月のテーマ

「家族——世界への宣言」は家族について教えてください。
「家族は神の子供たちの永遠の行く末に対する創造主の計画の中心を成すものである。」（『宣言』段落1）

今週の福音の原則

1. 「家族——世界への宣言」は現代の啓示です（教義と聖約68：4；信仰簡条1：9）。

『視覚資料』102, 107, 304, 416の預言者たちと教会の現代の預言者が受けた啓示を紙に書きます。準備した紙を何脚かのいすの下にテープではり付けます。黒板に次のように書き、パズルを解くよう子供たちにチャレンジします。

わたしたちは……信じる。

1 2 3 4 5 6 7 8 ⑨ 10 11 12 13

子供たちがヒントを必要とする場合は、数字の1を指さして信仰簡条第1条を暗唱し始めてください。パズルの解答は信仰簡条第9条です。第9条を暗唱したい子供がいるか尋ねます。前述の数枚の絵を掲示し、いすの下を見て、紙を探すよう子供たちに言います。見つけた紙と絵を子供たちが組み合わせるのを助けます。これらの預言者たちはこれまで常に啓示を受けてきたことを説明します。「家族——世界への宣言」を掲示し、これは現代の啓示の一つであると教えます。信仰簡条第9条を暗唱します。現代にも現実に啓示が与えられることについて証あかしします。

2. 「家族——世界への宣言」は結婚の大切さについて教えています（『宣言』段落1, 7；創世2：24；『原則』38章；「結婚」『真理』74－77）。
3. 「家族——世界への宣言」はわたしの家族が幸せになる方法を教えてください（『宣言』段落7；ヨハネ15：12；「幸福」『真理』79－80；『初等協会2』6課）。
4. 「家族——世界への宣言」はわたしの家族に働くことの大切さを教えてください（『宣言』段落7；出エジプト20：9）。

家族の宣言の段落7を読み、「労働」という言葉を強調します。働くことはなぜそんなにも大切なのか子供たちに尋ねます。わたしたちがともに働くとき家族が強められると教えます。1本の糸か毛糸を見せて、それを切るように子供たちに言います。同様の糸を子供たちそれぞれに1本ずつ与えます。わたしたちがともに働くとき、もっと強くなると説明します。子供たちを二人一組にして二人の糸をより合わせるよう言います。より合わせた糸は切れにくくなることを実証します。より合わせた2本の糸をクラスごとに再びより合わせてクラスの紐ひもを作り、それらを全部組み合わせる1本の初等協会のロープにします。そのロープの強さを実際に試してみせます。「お手伝い」（『歌集』108）

を歌います。家族がともに働くとき強められることについて証します。教師たちに手伝ってもらって、子供たち一人一人の指に短い糸を1本ずつ結びます。子供たちが各家庭で何かお手伝いをし終えたとき、指に巻いた糸を取るようになります。

11月のテーマ

家族とわたしはほかの人々に仕えることができます。「愛をもって互に仕えなさい。」(ガラテヤ5：13)

今週の福音の原則

1. わたしは家族に感謝し、家族に仕えます(マタイ23：11；モーサヤ2：17；『初等協会2』39課；『原則』28章)。
2. わたしの家族はほかの人々に仕えます(マタイ25：34-40；モーサヤ2：17；4：15)。

子供たちが次の聖句を覚えられるよう助けます。「あなたがたが同胞のために務めるのは、とりもなおさず、あなたがたの神のために務めるのである」(モーサヤ2：17)。「務める」「同胞」「神」などの言葉に簡単な動作を付けます。手話を使ってもいいですし、自分で動作を考えてもかまいません。クラスごとに、ほかの人々に奉仕する家族の姿をパントマイムで表現する方法を静かに話し合っ決めてさせます。例えば、熊手で落ち葉を集める、食事を分け与える様子などが考えられます。各クラスが順に奉仕の行いをパントマイムで演じている間、ほかの子供たちは何をしているところかを言い当てます。各クラスのパントマイムが終わるたびにモーサヤ2：17を暗唱します。「楽しいな」(『歌集』129)の「うたをうたうのは」という歌詞を、子供たちが演じた奉仕に置き換えて歌います。奉仕の祝福について証します。

3. わたしは家族の良い模範になることができます(マタイ5：16；1テモテ4：12；『初等協会3』45課)。

わたしたちは正しい模範を示すことによって、家族が天のお父様のもとに戻れるよう助けていると教えます。「わたしの福音の標準」に従うことは良い模範を示す助けになると説明します。『信仰』ガイドブックの裏表紙を子供たちに見せます。これらの標準を象徴する品物を幾つかバックの中に入れて持参します(例えば、教会が出版しているビデオ、霊性を高める音楽CD、神殿の絵、慎み深い衣服など)。一人の子供にバックの中の品物の一つ選ばせ、その標準に従って生活することの大切さについて教えるよう頼みます。「イエス様のように」(『歌集』40-41)を歌います。

間違った選択をするよう誘惑を受けたときには、いつでもこの歌を歌うよう子供たちに勧めます。「わたしの福音の標準」に従うことについて証します。

4. わたしは今から父親や母親になる備えをします(テトス2：4-6；モーサヤ4：14-15；アルマ37：35；教義と聖約68：25；「わたしの福音の標準」)。

12月のテーマ

イエス・キリストを思い起こすとき、わたしの家族は祝福を受けます。「わたしは知る、わたしをあがなう者は生きておられる、後の日に彼は必ず地の上に立たれる。」(ヨブ19：25)

今週の福音の原則

1. イエス様は家族の中にお生まれになりました(ルカ2：1-20；マタイ2：1-13；『初等協会3』47課；『原則』11章)。
2. わたしは聖餐を取るときイエス様を思い起こします(マタイ26：26-28；3ニーファイ18：7, 11)。

『視覚資料』225を掲示します。子供たちに、マタイ26：26-27を開き、一緒に聖句を読み、印を付けさせます。ビショップと、ほかにビショップが承認した人々(執事一人、教師一人、祭司一人、母親一人など)を招待し、聖餐の大切さについてパネルディスカッションをしてもらいます(「パネルディスカッション」『教師、召し』174-175参照)。各パネリストに前もって次のような質問を提示しておきます。「聖餐を受けている間はイエス様について考えるべきだということを、どのようにして思い出しますか。」「子供たちがイエス様のことを考えられるようになるには、どんな方法がありますか。」「イエス様を思うのは」(『歌集』148)を歌い、聖餐の大切さについてあなたの証を述べます。

3. イエス様を思い起こすことは正しいことを選ぶ助けになります(ヨシヤ24：15；3ニーファイ27：21-22；『初等協会3』3課；「選択の自由」『真理』134-135)。
4. イエス様はもう一度おいでになります(マタイ16：27；使徒1：11；「イエス・キリストの再臨」『真理』21-22)。

『視覚資料』316を掲示します。3ニーファイ17：11-13, 21-24を読み、子供たちと話し合います。子供たちを祝福しているイエス様を思い浮かべるように言い、もし自分がその子供たちの一人だったら、ど

のように感じるか尋ねます。可能ならば「わたしの喜びは満ちている」(『モルモン書ビデオプレゼンテーション』VHS [53911 300] またはDVD [04395 090] 第8部)を見せます。『視覚資料』238を掲示し、イエス様の戒めを守るなら、イエス様がもう一度おいでになるとき、わたしたちもイエス様とともにいることが

できると説明します。「あの日の子供のように」(『リアホナ』「フレンド」2008年4月号, 10-11) または「主の来られる時」(『歌集』46-47)を歌います。イエス・キリストが再臨されることについてあなたの証を述べます。

わたしの永遠の家族

落ち着いて ♩ = 104-120

詞・曲：アネット・ディックマン

か ぞくを つ よ め る た め
か ぞくを つ よ め る た め

ど りよ く し よう あ いを こ め み んな に ほ
しゅ に い の り み たまを さ ら に つ よ く

う し し よ う い つ も や さ し い こ と ば か
か ん じ よ う み ん な で て ん の い え に か え

た り な が ら か ぞ く の は た ら き に き よ う
れ る よ う に か み に つ か え け い か く に

り よ く し よ う わ た し が こ の い え に う
し た が お う

ま れ た の は え い え ん の か ぞ く を き す

く た め だ か ら

著作権 ©2008 Annette Dickman. 版權所有
 教会あるいは家庭における一時的また非営利目的の使用に限り、複製することを許可する。
 複製の際はこの注意書きを含めなければならない。

分かち合いの時間計画ワークシート

日付： _____

今月のテーマ： _____

今週の福音の原則： _____

この福音の原則をどのように導入したらよいか（「レッスンを始める」『教師，召し』93；「導入（注目を得るための活動）」『教師，召し』160）

この福音の原則を教え，子供たちをレッスンに引き込むにはどうしたらよいか。

- 聖文（「聖文から教える」『教師，召し』54－58）
- 歌（「音楽」『教師，召し』172－174；「本書の使用法」『歌集』149－151）
- 子供たちをレッスンに引き込む教え方（「教授法」『教師，召し』158－183）

この福音の原則を，子供たちが生活の中で応用できるように助けるにはどうしたらよいか（「教授法」『教師，召し』158－183）。

この福音の原則を教え，子供たちをレッスンに引き込むにはどうしたらよいか。

評価——わたしたちは，当初目指したことを達成しただろうか。改善するとすれば何ができるだろうか。

注——必要に応じて，初等協会会長会や教師のためにコピーするとよいでしょう。

クラスの発表

1か月に1回、分かち合いの時間はクラスの発表に充てます。これは、皆さんのクラスの子供たちにとって、福音の原則をほかの子供たちに教える機会となります。この経験は、皆さんがそれまで教えてきた原則を改めて強調する機会となり、グループでの発表に参加することによって、子供たちに自信を持たせる機会にもなります。

- 教師とクラスの子供たちが、クラスの発表の計画を立て、発表します。
- 発表は、その月に採り上げた「今週の福音の原則」の一つに添ったものとします。
- 以下のリストにあるとおり、『教師、その大いなる召し』の中にある、福音の原則を教えるための興味深い方法が参照できます。
- 初等協会の会長会と音楽指導者は、必要に応じていつでもクラスを援助できるように準備を整えておきます。

教え方

以下に、福音の原則を教え、分かち合いの時間に子供たちを引き込むために用いることのできる教え方を列挙します（「教授法」『教師、召し』158－183参照）。

当てはめること	黒板	話し合い
暗記	ジオラマ	パネルディスカッション
暗唱	視覚資料	比較と実物を用いたレッスン
絵を描くこと	視聴覚教材	フランドルボード
応用の技術	実演	ブレインストーミング
オーバーヘッドプロジェクター	質問	物語
音楽	島	指人形
活動の歌	写真・絵	朗読
紙人形	事例研究	朗読劇
具体例	聖句	ローラーボックス
ゲーム	地図	ロールプレー
劇化	導入（注意を引くための活動）	ワークシート
ゲストスピーカー	ナレーションを伴う音楽	
講義	バズセッション	

毎年発行される、分かち合いの時間、ならびに聖餐会での子供の発表の概要は、教会の公式ウェブサイト〔英語〕から入手することができます（www.lds.org）。



末日聖徒
イエス・キリスト
教会



02396 300